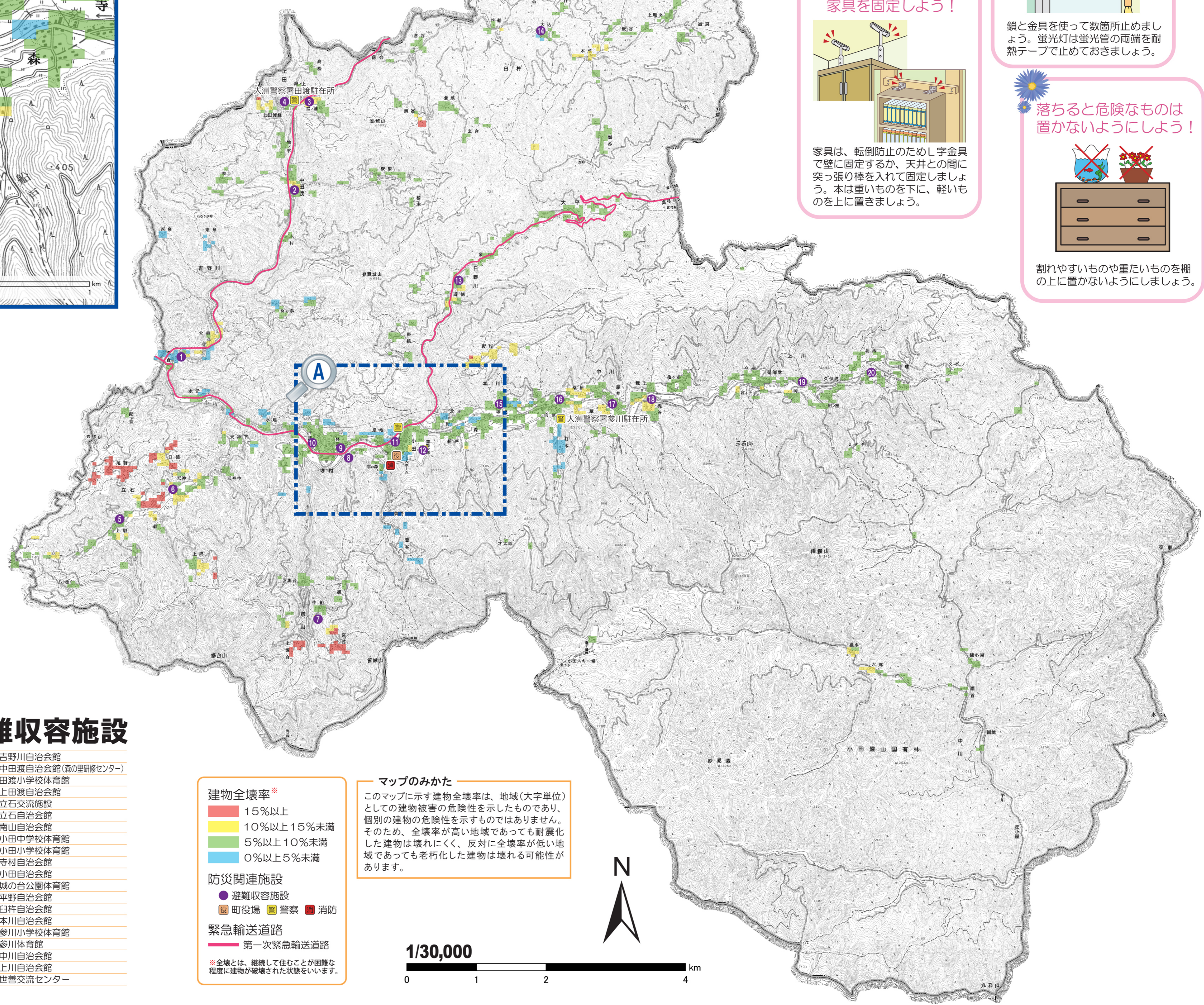


地域の危険度マップ

「地域の危険度マップ」
とは、南海地震(想定マグニチュード
8.4)が発生した場合、著しい被害を
受ける建物の割合(全壊する建物の割合)
を50mメッシュ単位で表現したものです。

内子町・小田地区



金具や突っ張り棒で家具を固定しよう!

家具は、転倒防止のためL字金具で壁に固定するか、天井との間に突っ張り棒を入れて固定しましょう。本は重いものを下に、軽いものを上に置きましょう。

照明器具は鎖と金具で固定しよう!

鎖と金具を使って数箇所止めましょう。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておきましょう。

落ちると危険なものは置かないようにしましょう!

割れやすいものや重たいものを棚の上に置かないようにしましょう。

耐震対策を考えよう

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、地震により6,434人の尊い命が失われました。このうち地震による直接的死者は5,502人であり、その約9割が住宅等の倒壊によるものでした。このときに被害を受けた建物の多くは昭和56年以前に建てられたものでした。

被害状況	昭和57年以降	昭和56年以前
大破以上	8%	28%
中・小破	18%	38%
軽微・無被害	74%	34%

図 阪神・淡路大震災での建物被害状況

昭和56年以前の建物は、古い耐震基準に基づいており、耐震性が低く、揺れによって被害を受ける可能性があります。ほかにも壁の少ない建物も要注意です。

建物の安全性が気になる方は、専門家による耐震診断を受けましょう。

- ### 避難収容施設
- 小田地区**
- 1 吉野川自治会館
 - 2 中田渡自治会館(森の里研修センター)
 - 3 田渡小学校体育館
 - 4 上田渡自治会館
 - 5 立石交流施設
 - 6 立石自治会館
 - 7 南山自治会館
 - 8 小田中学校体育館
 - 9 小田小学校体育館
 - 10 寺村自治会館
 - 11 小田自治会館
 - 12 城の台公園体育館
 - 13 平野自治会館
 - 14 臼杵自治会館
 - 15 本川自治会館
 - 16 参川小学校体育館
 - 17 参川体育館
 - 18 中川自治会館
 - 19 上川自治会館
 - 20 世善交流センター

建物全壊率※

- 15%以上
- 10%以上15%未満
- 5%以上10%未満
- 0%以上5%未満

防災関連施設

- 避難収容施設
- 町役場 ■ 警察 ■ 消防

緊急輸送道路

- 第一次緊急輸送道路

※全壊とは、継続して住むことが困難な程度に建物が破壊された状態をいいます。

マップのみかた

このマップに示す建物全壊率は、地域(大字単位)としての建物被害の危険性を示したものであり、個別の建物の危険性を示すものではありません。そのため、全壊率が高い地域であっても耐震化した建物は壊れにくく、反対に全壊率が低い地域であっても老朽化した建物は壊れる可能性があります。

